

沖縄県石垣島石垣市石垣方言の名詞と形容詞

狩俣繁久（琉球大学）

1 はじめに

石垣市石垣方言は、石垣島の中心市街地の四箇と呼ばれる石垣、大川、登野城、新川の一つの字の方言である。この四字の方言は四箇方言と総称できるほどよく似た方言だと言われる。四箇方言を話せるのはおそらく80歳以上の方であると考えられる。

2 音声の特徴と仮名文字表記

四箇方言の母音は、6個の短母音 /i, e, a, o, u, ɿ/ と 7個の長母音 /i:, e:, a:, o:, u:, ɿ:, ε:/ の計13個である。

子音は、 /h, k, g, s, z, t, d, c, n, p, b, m, r/、口蓋音化した子音 /kj, gj, hj, kj, gj, sj, zj, tj, dj, cj, nj, pj, bj, mj, rj/、唇音化した子音 /w, hw, kw, gw/そして、音節をとじる子音 /Q, N/がある。

日本語の i に対応して舌尖母音 ɿ が現れ、語末に ɿ の現れる名詞にとりたて助詞の後接した曲用形に前舌半広母音 ε が現れる。h に対応して p が現れるのは四箇方言の特徴だと言われるが、近年の話者の発話では h が現れる。(例: pa: (葉)、pi: (日))。

| | |
|---------|---|
| pɿ ビイ | カピイ kap ^s ɿ (紙)、ピイダルイ p ^s ɿdarɿ (左) |
| pɿ: ビイー | ピイー p ^s ɿ: (日)、 |
| bɿ ビイ | ティヌフビイ tinufub ^ɿ (手首) |
| bɿ: ビイー | ビイー b ^ɿ : (亥)、 |
| kɿ キイ | キイヌ k ^s ɿnu (衣服)、イキイ ik ^s ɿ (息)、 |
| gɿ ギイ | ガギイ gagɿ (鎌) |

前舌半広母音 ε: を含む音節を仮名文字で書き表すとき、p、b、n、r、ts、dz、s、m に ε: が後接した音節は、ウ段の仮名に小添字エを組み合わせる。エの代わりに半濁点付きのエ°を組み合わせることも可能だが、簡略化するためにエを組み合わせることとする。また、k、g に ε: が後接した音節は、イ段の仮名に小添字エを付して表すこととする。クエ、グエは外来語などに含まれる音節を表す仮名文字と衝突する可能性があるためである。

| | |
|---------|----------------------------------|
| ke:キェー | サキェーsake: (先は) |
| ge:ギェー | ガギェーgage: (鎌) |
| pe:プェー | プェーpe: (酢・鍬)、スプェーsupe: (杓子) |
| be:ブェー | カブェーkabe: (紙は) |
| re:ルェー | トゥルェーture: (鶏は) |
| tse:ツェー | ミツェーmitse: (道は) |
| dze:ズェー | ミズェーmidze: (水は)、トゥズェーtudze: (妻は) |
| se:スェー | ウスェーuse: (牛は)、 |

3 名詞の格の形

四箇方言には、次の格形式が存在する。日本語及び琉球諸語のほとんどの方言に見られる格助詞「ガ」がみられないのは四箇方言の大きな特徴の一つである。以下に用例とともに掲載する。

| 形式格 | 意味格 | 例文 |
|------|-----|---|
| ハダカ格 | 主格 | バー <u>カナパイ</u> ウマターンガ アン? 私の <u>鍬</u> その辺に ある? |
| | 属格 | <u>バー</u> カナパイ ウマターンガ アン? <u>私の</u> 鍬 その辺に ある? |
| | 対格 | バナー ハナコカラ <u>イーゴ</u> ナローダ。 私は 花子から <u>英語</u> を 習った。 |
| ヌ格 | 主格 | アッ、 <u>バスヌ</u> キーツタドー。 あ、 <u>バスが</u> 来たよ。 |
| | 属格 | ウヌ <u>ユイヌ</u> インツィカサールイ ガギドゥ バー ムン。 その <u>柄</u> の 短い 鎌が 私のだ。 |
| ユ格 | 対格 | ワー クヌ イズヌ <u>ナーユ</u> ッシン? おまえは この 魚の <u>名まえ</u> を 知っているか? |
| バ格 | 対格 | ワー クヌ イズヌ <u>ナーバ</u> ッシン? おまえは この 魚の <u>名まえ</u> を 知っているか? |
| シ格 | 道具格 | クヌ <u>カタナシドゥ</u> キスエーリ。 この <u>包丁</u> で 切ったんだ。 |

| | | |
|------|------|--|
| カイ格 | 行先格 | タローヤ アッコン カイスイナ <u>ハタギカイドウ</u> ハリルイ。 太郎は、芋を <u>掘りに 畑に</u> いている。 |
| | 相手格 | サブローヤ <u>ジローカイ</u> クアーシャー ファーサリダ。 三郎は <u>二郎に</u> げんこつを くらわされた。 |
| ンガ格 | 所格 | バー カナパイ <u>ウマターンガ</u> アン？ わたしの 鍬 <u>その辺に</u> ある？ |
| | 時間格 | ピイロムヌ <u>マインガー</u> ムドゥリ クイン。 昼ごはんの <u>前には</u> 帰ってくる。 |
| ナンガ格 | 場所格 | <u>ンナトゥナンガ</u> ブイヌ ゴローカイ イコーダ。 <u>港で</u> 甥の 五郎に 会った。 |
| | ありか格 | <u>ホツカイドーナンガー</u> クマズドウ ウルイチョーラー？ <u>北海道には</u> クマが いるそうだね？ |
| カラ格 | 開始格 | ハナコヤ <u>キヌカラ</u> ヤミ ニビドウ ウルイ。 花子は <u>きのうから</u> 病気で ねている。 |
| | 出所格 | イシトゥ イシヌ <u>ミーカラ</u> ミズイヌ バギ イデーヌ。 石と 石の <u>間から</u> 水が 湧いている。 |
| マディ核 | 到達格 | クヌ ニーユ <u>ヤーマディ</u> カタマー イキ ヒーリヤ。 この 荷物を <u>家まで</u> かついで 行ってくれ。 |
| トゥ格 | 相手格 | ジローヤ ジンヌ クトゥシ <u>サブロートウ</u> アウダ。 二郎は 小遣いの ことで おとうとの <u>三郎と</u> けんかした。 |
| ヤカン格 | 比格 | クヌ ミズイ バガセールイ <u>ミズイヤカン</u> ンマサンダラー。 この 水、沸かした <u>水より</u> 美味しいよ。 |

4 とりたての形

次にとりたて形式と用例をあげる。

ドウは、琉球語内で広く見られるが、四箇島方言の場合、(5)のように対比的な構造をもつ文脈や場面で現れやすい。また、(6)のように、「AかBか」のような選択疑問文の中で、選択肢としてさしだされた単語に=ドウを後接させて述語としてさしだしている例がみられた。

| | | |
|-----|----|---|
| ヤ形 | 対比 | クヌ ミズエー バガセールイ ミズイヤカン ンマサンダラー。 この 水は、沸かした 水より 美味しいよ。 |
| ン形 | 共存 | <u>ナマスイン</u> ンマサーソング カーガスイイズン ンマサーン。 <u>刺身も</u> おいしいけど、 <u>焼魚も</u> おいしい。 |
| ドウ形 | 特立 | ニクヤカン <u>イズヌドウ</u> ンマサールイ。 肉より <u>魚が</u> おいしい。 |

| | | |
|-------|-----|---|
| タンガー形 | 限定 | フネー ピイトウインガ <u>ピイトウゲンタンガードウ</u> アルイ。 船は 一日に <u>一回しか</u> ない。 |
| ザーギ形 | 極端 | バナー <u>グシザーキ</u> アルイカー、 ノーン フサー ネーヌ。 私は <u>酒さえ</u> あれば なにも いらぬ。 |
| ナーダ形 | 反限定 | バナー <u>アッコナーダ</u> ファーヌドー。 おれは <u>さつまいもなんか</u> 食べぬぞ。 |
| ンザン形 | 極端 | ウブピイトウ ナリテン <u>パースイトウナガンザン</u> ツイクリブサヌ？ おとななのに <u>卵焼きさえ</u> 作れぬのか？ |

5 第一形容詞

形容詞は文法的な意味に応じて変化する品詞で、動詞と同じく用言に分類される。動詞と同じく、肯否の違いによって肯定形容詞と否定形容詞がある。肯定形容詞は、当該形容詞の表す特性や状態が実現することを表し、否定形容詞は、特性や状態が実現しないことを表す。肯定形容詞と否定形容詞は、いずれも文中での位置と機能にしたがって、終止形、中止形、連体形、条件形に分かれる。終止形と連体形、および条件形のなかの理由形とうらめ形と対比形は、テンスによって現在形と過去形がある。終止形は、広い意味でのムードによって叙述形に質問形がある。叙述形には感嘆形が含まれる。

石垣方言の肯定形容詞の活用形は、サ連用形に非情物の存在を表すアン（有る）の活用形を組み合わせた形式（以下、融合形）で、否定形容詞はサ連用形に非情物の不存在を表すネーヌ（無い）の活用形を組み合わせた非融合形である。なお、一部の活用形には語幹を重ねた形式が見られる。以下では、2020年度の調査で得られた資料に基づいて石垣方言の形容詞について概観する。今後調査を重ねて資料を増やしたうえで詳しい記述を行いたい。

6 肯定形容詞

| | | | 非過去 | 第一過去 |
|-----|------|------|--------------------|----------------------------------|
| 直説法 | 断定 | 非強調 | ンマサーン。 ヤーサーン。 | ンマサーダ。 ヤーサーダ。 |
| | | 強調文 | ンマサールイ。 ヤーサールイ。 | ンマサーダ。 |
| 質問 | 肯否質問 | 非強調形 | ンマサン？ | ンマサーダ？ ヤーサーダルイ？ ヤーサードゥ アダ？ |

| | | | |
|-----|-------|---|----------------------------------|
| | 疑問詞質問 | ンマサーリャ? ヤーサーリャ? | ンマサーダ? ヤーサーダ? |
| | 確認要求 | ンマーサダラー? ヤーサーダラー? ンマサンサー? ヤーサンサー? | |
| 感嘆形 | | カラサヌ! ツフサヌ! (黒い) | |
| 中止形 | | ンマサーリッテ、 ンマサ ナルン (美味しくなる) カラサ ナリダ (辛くなった)。 ヤーサヌ、 | |
| 連体 | | ンマサールィ～ ヤーサールィ～ ツフオーツフヌ (黒い) ～ | ンマサーダ～ ヤーサーダ～ |
| | 仮定 | ンマサーダカー、 | |
| | 条件 | ンマサールカー、 ヤーサルィカー、 ヤーサーレールィカー、 | |
| | 譲歩 | ンマサーラバン、 ヤーサーラバン、 ンマサーダデン、 | |
| | 原因・理由 | ンマサーリキ、 ヤーサーリキ、 | ンマサーダードウ ヤーサーダ、 ヤーサーレーリキー、 |
| | うらめ | ンマサールィムンヌ、 ンマサールィムンバ、 カラサールィムンバ、 | |
| | 対比的 | ンマサーソング、 ヤーサソング、 | ンマサーダソング、 ヤーサーダソング、 |

7 否定形容詞

| | | | 非過去 | 過去 |
|-------------|----------|---------|---|----------------------------------|
| 直 説 法 | 断定 | 非 強調 | ンマサー ネーネ。 ヤーサ ネーヌ。 | ンマサー ネーナータ。 ヤーサー ネーナータ。 |
| | | 強調 | ンマサー ネンバン。 | ンマサー ネーナータ。 |
| 質 問 | 肯否 質問 | 非 強調 | ンマサー ネーヌ？ ヤーサー ネーネ？ | ヤーサー ネーナータ？ |
| | | 強調 | | ンマサードゥ ネーナータ？ |
| | 疑問詞質問 | | ンマサー ネンバ？ ヤーサー ネンバ？ ヤーサー ネーナーリャ？ | ンマサー ネーナータ？ ヤーサー ネーナータ？ |
| 連体 | | | ンマサー ネーヌ～ ヤーサー ネン～ | |
| 条 件 | 仮定 | | ンマサー ネーナーカー、 ヤーサー ネーナーカー、 | |
| | 条件 | | ンマサー ネーナーカー、 ヤーサー ネーナーカー、 | |
| | 譲歩 | | ンマサ ネーナーテン、 ヤーサ ネーナーテン、 | |
| | 原因・理由 | | ンマサー ネーナーキー、 ヤーサー ネーナーキー、 ンマサー ネンバ、 | ンマサー ネーター、 ヤーサー ネーナーダー、 |
| | うらめ | | ンマサ ネーナーテン、 ヤーサ ネーナーテン、 | |
| | 対比的 | | ンマサー ネンソング、 ヤーサーヤ ネンソング、 | ンマサー ネーナータソング、 ヤーサー ネーナータソング、 |

石垣市石垣方言の格形式ととりたて形式の調査のための例文

| | |
|-------------------------------------|---|
| (ごめんください。) 太郎、いる？ | タロー、 ウン？ |
| ううん、太郎は いないよ。 | アーイ、 タローヤ ウラヌ。 |
| どこに 行ったの？ | ズイマカイドウ ハッタ？ |
| 太郎は、朝から 畑に 芋を 掘りに いる。 | タローヤ スイトウムディカラ アッコン カ イスイナ ハタギカイドウ ハリルイ。 |
| いつ 帰ってくるの？ | イツイドウ ムドゥリキヤー？ |
| 昼ごはんの 前には 帰ってくる。 | ピロームヌ マインガー ムドゥリ キ ン。 |
| 時間が あるなら お茶でも 飲ま ない？ | ピイマヌ アルカー チャー ヤラバン ヌマ ヌ？ |
| ううん、11時までに 家に 戻らな く ては いけない。 | アーイ、 ジューイツイジマディンガ ヤーカ イ ムドゥラバドゥ ヤルイ。 ／アーイ、 ジューイツイジマディンガ ヤー カイ ムドゥラナカー ナラヌ。 |
| 昼ごはんの あとで もう一度 来る ね。 | ピロームヌ アトゥカラ メー ピイトウ ゲーラ マーリ クイ。 |
| 私は 今日 忙しいから、だれか 役 場に 行ってくれないかなあ？ | バナー キューヤ ハンタサーリキ、 タロン ガサ ヤクバカイ イキ ヒューヌカヤー？ |
| 役場へは 私たち 二人で 行っても いいよ。 | ヤクバカイヤ バンダー フタールイシ ハラ バン ミシャーンドゥラー。 |
| 車が 無いから バスでも タクシー でも 乗って 行こう。 | クルマヌ ネーナーキ、バス ヤラバン タク シー ヤラバン ヌリ ハラ。 |
| 車が 無いから バスでも タクシー でも 乗って 行こう。 | クルマヌ ネンバ、バス ヤラバン タクシ ー ヤラバン ヌリ ハラ。 |
| 小銭が 無かったので、紙幣を 硬貨に 替えて もらった。 | クージンヌ ネーナーダードウ、 カビイジ ンユ カニジンカイ カイスイミダ。 |
| 小銭が 無かったので、紙幣を 硬貨に 替えて きた。 | クージンヌ ネーナーダードウ、 カビイジ ンユ カニジンカイ カヤーキダ。 |
| あ、バス 来たよ。 | ヤー、 バスヌ キーッタドー。 |
| えっ、こんなに 早く バスが 来た の？ | イーッ、 オーハイシャ バスヌ キーッタ？ |

| | |
|-----------------------------|-------------------------------------|
| うん。もう来たんだよ。 | ンー、メー キーレンユー。 |
| さあ、あのバスに乗ろう。 | ディー、アヌ バスカイ ヌラ。 |
| わたしの 鍬 その辺にある？ | バー カナパイ ウマターンガ アン？ |
| どこをさがしても 鍬が 無いんだよ。 | ズィマー トゥミリヤン カナパイヤ ネーヌデヨ。 |
| どこをさがしても 鍬が 無いんだよ。 | ズィマー トゥミバン カナパイヤ ネーヌデヨ。 |
| あった。あった。ここに あるよ。 | アダ。アダ。クマンガ アソー。 |
| あった。あった。ここにあった。 | アダ。アダ。クマンガドゥ アリヤン。 |
| どれが おまえの 鎌だ？ | ジリドゥ ワー ガギイリヤ？ |
| その 柄の 短い 鎌が 私のだ。 | ウヌ ユイヌ インツィカサールイ ガギイドゥ バー ムン。 |
| この 柄の 長い 鎌は 三郎のか？ | クヌ ユイヌ ナーサールイ ガギイヤ サブロー ムンドゥ ヤル？ |
| ううん、それは 弟の 鎌じゃない。 | アーイ、ウレー ウトゥドゥヌ ガギイ アラス。 |
| この 鎌は 三郎の 鎌じゃないのか？ | クヌ ガギイヤ サブロー ガギイ アラス？ |
| うん、それは 弟の 鎌じゃない。 | アーイ、ウレー ウトゥドゥヌ ガギイヤ アラス。 |
| じゃあ、この 鎌は 誰のだ？ | アンズィカー クヌ ガギイヤ ター ムンリヤ？ |
| それは おじいさんの 鎌かもしれない。 | ウレー ウシュマイヌ ガギイドゥ ヤルイユー バガラヌ。 |
| 太郎は あした 那覇へ 友だちに 会いに いくらしい。 | アツツァ タローヤ ナハカイ ドゥスイ ミーナ ハルインガシャーリイ。 |
| ここから 那覇までの 船賃は いくらのなの？ | クマカラ ナハマディヌ フナツィンヤ イコーバリヤ？ |
| 往復で 五千円ぐらいだろう。 | イキィムドゥルイシ グシンイン バガラ ヤルイ ハズイ。 |
| 往復で 五千円ぐらいだよ。 | イキィムドゥルイシ グシンイン バガラサー。 |

| | |
|--------------------------------|--|
| 沖縄には 飛行機で 行くより 船で 行った ほうが 安いね。 | ウキイナーカイヤ ヒコーキシ ハルソンヤカン フニシ ハルイスイドゥ ヤッサールイラー。 |
| でも、船は 一日に 一回しか ないよ。 | ヤソング、 フネー ピイトウインガ ピイトウゲン タンガードゥ アルイドゥラー。 |
| でも、船は 一日に 一回しか ないよ。 | ヤラバン、 フネー ピイトウインガ ピイトウゲン タンガードゥ アルイドゥラー。 |
| 港なら こっちの 道が 近道だ。 | ンナトゥカイ ヤルカー、 クマヌ ミツイドゥ ツィカサーリドゥラー。 |
| 車が 来るから、道の まんなかを あるいては いけない。 | クルマヌ キーキ、 ミツイヌ マンナカー アラゲー ナラヌ。 |
| 港で 甥の 五郎に 会った。 | ンナトゥナンガ ブイヌ ゴローカイ イコーダ。 |
| 那覇からの 船に 乗って来たんだって。 | ナハカラヌ フニナンガドゥ ヌリ キーダッチョ。 |
| 五郎は 日曜日まで 島に いて、月曜日に 帰るそうだよ。 | ゴローヤ ニツイヨーマディ スイマンガ ウリテ、 ギツイヨーナンガ ムドウルンチョ。 |
| たしか お宅の お孫さん 小学生だったよね。 | タシカ ワッチャヌ マーヤ ショーガクシー ヤダラー。 |
| うん、去年から 小学校に 通っている。 | アンジ、 クズカラ ショーガッコウカイ ハリン。 |
| 私の 孫は 目と 口が 私に よく 似ている。 | バー マーヤ ミートゥ フツイヌ バヌカイ ユー ニヤールイ。 |
| ここは 海に ちかいので、 魚は うまい。 | クマー トゥモールイヌ ツィカサーリキ、 イズヤ ンマサンドゥラー。 |
| 一郎は 朝から 海へ 魚を とりに行った。 | イチローヤ スイトウムディカラ トゥモールイカイ イズ ホースイナ ハッタ。 |
| おまえは この 魚の 名まえを 知っているか？ | ワー クヌ イズヌ ナーユ ッシン？ |
| これは カツオだろう？ | クレー カツーサー？ |
| うん、 そうだよ。 カツオだよ。 | ンー、 アンジ。 カツードゥラ。 |
| 肉より 魚が おいしい。 | ニクヤカン イズヌドゥ ンマサーリイ。 |
| 私は タコの さしみが 食べたい。 | バナー タクヌ ナマスイドゥ ホイフサーリイ。 |

| | |
|-------------------------------|---|
| 刺身も おいしいけど、焼いた 魚もおいしいよ。 | ナマスイン インマサーソング カーガスイ イズン インマサンドウラー。 |
| 酒は どうやって つくるか おまえは知っているだろう？ | グスエー ノーシドウ マカスインデ ワーッシンサー？ |
| うん。酒は 米から つくるんだよ。 | ンー。 グスエー マイシドウ ツイクレンユー。 |
| 私は 酒さえ あれば、他には なにも いらぬ。 | バナー グシザーキ アルイカー、 フカネー ノーシ フサー ネーヌ。 |
| 二郎は 酒も 飲まないし、たばこも吸わない。 | ジローヤ グシン ヌマヌ、タバゲン フカサヌ。 |
| 雨の ふる 日には 太郎は 家で テレビばかり 見ている。 | アーミヌ フォー ピンヤ タローヤ ヤーナンガ テレビ タンガードウ ミヤールイ。 |
| おれは さつまいもなんか 食べないぞ。 | バナー アッコンナーダ ファーヌドー。 |
| 食べて ねるだけなら いぬや ねことおなじだ。 | フォイツター ニビタンガー ウルカー、 イン、 マヤートウ ヌヌムヌドウ ヤルイ。 |
| たまには お父さんの 手伝いぐらいしろ。 | ピイトウゲンナーヤ アッチャーヌ ティガナインザン シャー。 |
| 太郎、この 荷物を 家まで かついで 行ってくれ。 | タロー、 クヌ ニーユ ヤーマディ カタメー イキ ヒーリヤ。 |
| 荷物が 重いので、二郎と 二人でもっていいか？ | ニーヌ イッサーリキ、 ジロートウ フタールイシ ムツアバン ミシャーン？ |
| いとこの 花子は 英語の本が 読める。 | イチュフヌ ハナコヤ イーグヌ フン ユミッシン。 |
| いとこの 花子は 英語の本が 読める。 | イチュフヌ ハナコヤ イーグヌ フン ユミブスイン。 |
| 私は 花子から 英語を 習った。 | バナー ハナコカラ イーゴ ナローダ。 |
| 去年 花子が 中学の 先生に なった。 | クズ ハナコー チューガッコヌ シンシーナルダ。 |
| 二郎は 小遣いの ことで おとうとの 三郎と けんかした。 | ジローヤ ジンヌ クトウシ ウトウドウヌ サブロートウ アウダ。 |
| 三郎は 二郎に げんこつを くらわされた。 | サブローヤ ジローカイ クァーシャー ファーサリダ。 |
| 二郎と 三郎は 喧嘩の ことで じいさんに しかられた。 | ジロートウ サブローヤ アイヌ クトウシ ウシユマイカイ イザリダ。 |
| その 話は 妻だけに 聞かせた。 | ウヌ パナスエー トウズイタンガーカイドウ スィカスィダ。 |

| | |
|---------------------------------|---|
| あ、雨が ふってきた。 | イエー、アーミンヌ フイキールイ。 |
| やねの 上に いとこの 布団が ほしてあったよ。 | ヤーヌ ウイナンガ イチュフヌ ウズヌ フサレーダ。 |
| あーあ、布団が 雨に 濡れて いる。 | アガヤー、ウゾー アーミンガ ゴッフエードウ ウルイ。 |
| あーあ、布団が 雨に 濡れて びしょびしょに なっている。 | アガヤー、ウゾー アーミンガ ゴッフエースィブットウ ナリドウルイ。 |
| きのうは 風が 強かったねえ。 | キノー カジヌ ツーサーダラー。 |
| あれ、部屋の中 枯葉が 入っているよ。 | アビヤー、ヤーヌ ウツィンガ カリバーヌ ペーリンドー。 |
| あの 開いた 窓から 入ったんだよ。 | ウヌ アキルイ マドウカラドウ ペーレールイラー。 |
| あの 開いた 窓から 入っただろう。 | ウヌ アキルイ マドウカラドウ ペーレールイ ハズイ。 |
| ほら、真っ白な 鳥が 空を 飛んでいるよ。 | ンディ、ツソーツソーヌ トウルイヌ ティンヌ ナカスィタカラ トゥビ アラグソー。 |
| あの 羽の 白い、くちばしの 長い 鳥は なんという 鳥かな。 | ウヌ ツソーツソーヌ パニ シーッテ、フツィヌ ナーサールイ トウルイヤ ノーデンク トウルイカヤー。 |
| あの 鳥は シラサギかもしれないね。 | ウヌ トウルエー シルイサイドウ ヤルユーバガラヌラー。 |
| 北海道は 広かったねえ。 | ホッカイドーヤ ピィソーピィソー アダラー。 |
| うん。食べ物も おいしかったねえ。 | ンー。ファィムヌン シマサーダラー。 |
| 北海道には クマが いるそうだね？ | ホッカイドーナンガー クマヌドウ ウルイチヨラー？ |
| うん。シカも フクロウも いるらしいよ。 | ンー、シカン ミンツィクグルン ウンチヨ。 |
| 北海道には めずらしい 菓子が たくさん あった。 | ホッカイドーナンガー ミザラサールイ クァースィヌドウ タカーニ アダ。 |
| この お菓子は いくらで 買ったの？ | クヌ クァースエー イコーバシ カウダ？ |
| この お菓子は 北海道で 二千元で 買った。 | クヌ クァースエー ホッカイドーナンガ ニシンインシ カウダ。 |

| | |
|----------------------------------|--|
| おみやげは おばあさんから 先に 上げた。 | ツイトウヤ ンミーカラ サクイ オイスイダ。 |
| おみやげは おばあさんから 上げた。 | ツイトウヤ ンミーカラ オイスイダ。 |
| ばあさんのと おなじ おみやげを 花子にも 買って やった。 | ンミー ムントウ ユヌ ツイトウユ ハナコカイン カイ ヒーダ。 |
| 孫たちに あげる つもりで 菓子を 買って あった。 | マース メーカイ ヒールンデ クァースイユ カイツィケーダ。 |
| お菓子は 箱の 中に いくつ あるとおもう？ | クァースエー ハクヌ ナカンガ イフツイ アンデ ウムイヤ？ |
| やつつぐらい じゃない？ | ヤーツイバガラ アラヌ？ |
| やつつぐらい じゃないかな。 | ヤーツイバガラ アラヌカヤー。 |
| 四つしか 残っていないよ。 | ユーツイタンガードウ スクリドウルイ。 |
| 台所に行ったら、お母さんが スイカを 切ってあった。 | トーラカイ イキーミーケン、 アッパーヌ スイクァユ キシツイケーダ。 |
| (包丁があるのをみて) この 包丁で 切ったんだ。 | クヌ カタナシドウ キスエールイ。 |
| おまえ、かごは どうやって 作るか分かるか？ | ワー、 バーキヤ ノーシドウ ツィクルユー バガルイン？ |
| 小刀で 竹を 削って 作ると思う。 | シングシ タケー キジテカラドウ ツィクルンデ ウモー。 |
| 稲刈りの ときには 子どもにまで 手伝える。 | マイカルイヌ バシヨー フェーヌメーカイマ デイン ティガナー スイミン。 |
| 花子は きのうから 病気で ねている。 | ハナコヤ キイヌカラ ヤミ ニビドウルイ。ハナコヤ キイヌカラ ヤミ ニビドウ ウルイ。 |
| かあさんが 花子に ごはんを 食べさせた。 | アッパーヌ ハナコカイ ンボン フェースイダ。 |
| 花子は お粥しか 食べられなかった。 | ハナコー カイヤカ フカー ファイブサナータ。 ハナコー カイタンガードウ ファイブスダ。 |
| 医者が くれた くすりを のめば なおるだろう。 | イシャヌ ヒーダ フシルイ ヌムカー ノールイ ハズイ。 |
| 病気を 治すには、 たくさん 食べて 十分 寝なければならない。 | ヤン ノースインデ ウモーカー、 タカーニホイテ ユカラシュク ニバナーカー ナラヌ /ニババドウ ヤルイ。 |

| | |
|--|---|
| そこには 女しか 入れない。 | ウマカイヤ ミードウンタンガードウ ペーラ リ。 |
| そこには 女で なければ 入れない。 | ミードウン アンナーカー ペーラルイス。 |
| 男なら 赤ちゃんでも 絶対に 中には 入れない。 | ビギドウン ヤルカー ツィナファー ヤラバ ン イッカ ナカカイヤ ペーラルイス。 |
| 教えてもらわなければ なかに 入って いた。入っていたにちがいない。(実際 には、入らなかった) | ナラーシ ヒューナーナータカー ナカカイ ペーリドゥ ウダ。 ／ナラーシ ヒューナーナータカー ナカカイ ペーリ ウリドゥ アレールイ。 |
| 石と 石の 間から 水が 湧いてい る。 | イシトウ イシヌ ミーカラ ミズインドウ バギ イデールイ。 ／イシトウ イシヌ ミーカラドゥ ミズィヌ バギ イデールイ。 |
| この 水は 沸かした 水より 美味し いよ。 | クヌ ミズエー バガセールイ ミズィヤカン ンマサンドウラー。 |
| ほら、ひとくち 飲んでみて。 | ジュー、 ピイトウフツイ ヌミ ミーリ。 |
| 花子も お菓子が 好きかもしれない。 | ハナコン クァースィヤ スキ アラヌカヤ ー。 |
| 花子も お菓子が 好きだろう。 | ハナコン クァースィヤ スキ ヤルイ ハズ イ。 |
| 和子と 花子は 友だちだ。 | カズコートウ ハナコヤ ドウスイ。 |
| (タバコの吸い殻をみて) 先生は ここに 居たんだ。 | シンシーヤ クマンガドゥ ウレールイ。 |
| 人は 命の あるうちは 働かなければ ならない。 | ピイトー ヌツイヌ アルンケン ハタラガバ ドゥ ヤルイ。 |
| 人は 命の ある 間は 働かなければ ならない。 | ピイトー ヌツイヌ アル アイヤ ハタラガ バドゥ ヤルイ。 |
| 食べやすい ように お母さんが 団子 を 串から 外して あった。 | ホイヤッサ ソンヤー アッパーヌ ダンゴー ヨーズィカラ パンツァシ ツィケーダ。 |
| おとななのに 卵焼きさえ 作れないの か？ | ウフピイトウ ナリテン パースイトウナガン ザン ツィクリブサヌ？ |
| いつも お母さんが つくってくれてい たから 何も 作れない。 | イツィン アッパーヌ ツィクリ ヒヤーレー リキ、 ノーン ツィクリブサヌ。 |
| まだ 一度も 作ったことが ない。 | メーダ ピイトウゲンザン ツィクリ ミュー ヌ。 |

| | |
|-----------------------------|---|
| | メーダ ピイトウゲンザン ツィクリ ミヤー ムース。 |
| 私でさえ 持てないのに、 おまえには 持てないよ | バヌンザン ムツアルンムンバ、 ワヌカイヤ ムツアルヌ。 |
| 私でさえ 持てないから、 おまえには 持てないよ | バヌンザン ムツイブサナーキ、 ワヌカイヤ ムツアルヌ。 |
| 友だちとの 約束は 守らなければなら ない。 | ドウスイトウヌ ヤクソコー マムラバドゥ ヤルイ。 |
| 友だちとの 約束は 守らなければなら ない。 | ドウスイトウヌ ヤクソコー マムラナーカー ナラス。 |
| あの 人こそ 金持ちだ。 | ウヌ プイトウヌドゥ ウヤキヤー。 ウヌ プイトウヌドゥ ウヤキプイトウドゥ ヤルイ。 |

石垣市石垣方言の肯定形容詞と否定形容詞の活用形の例文

| | |
|-------------------------------|--|
| 豚肉と山羊肉は、どっちがおいしいの？ | オーヌ ニクトウ ピビジャヌ ニクトー ジリンドウ ンマサーリヤ？ ／オーヌ ニクトウ ピビジャヌ ニコー ジリンドウ ンマサーリヤ？ |
| 山羊肉より豚肉がおいしい。 | ピビジャヌ ニクヤカン オーヌ ニクンドウ ンマサールイ。 |
| 沖縄の豚肉はおいしいの？ | ウキナーヌ オーヌ ニクヤ ンマサーン？ |
| うん、おいしくて安いよ。 | シー、ンマサーリテ ヤッサンドウラー。 |
| 山羊汁って、おいしくないの？ | ピビジャヌ スイルイヤ ンマサー ネーヌ？ |
| ううん、おいしいけど、においが少しきつい。 | アーイ、ンマサーソングドウ カザンドウ ンメーシ キッツァールイ。 |
| でもヨモギを入れたら美味しいから、食べてみて。 | ヤソング、フツィヌパー イリカー、ンマサー リキ、ホイミーリ。 |
| ほら、おいしいだろう？ | ラー、ンマサンサー？ |
| おいしくないけれど、体に良さそうだね。 | ンマサー ネーンソング、ドゥーカイヤ ミシヤ ンガシャーソーラー。 |
| 残さないで食べていたけど、おいしかったの？ | ヌクサントウニ ホイダソング、ンマサーダ？ ／ヌクサナー ホイダソング、ンマサーダ？ |
| うん、おいしかったから、全部食べたよ。 | シー、ンマサーダードウ、ムール ホーダ。 ／シー、ンマサーリキ、ムール ホーダ。 |
| どれが一番おいしかった？ | ジリンドウ イッツイン ンマサーダ？ |
| 魚の煮つけがおいしかった。 | イズヌ ンブシャーヌドウ ンマサーダ。 |
| (残さずに食べたのをみて) へえ、おいしかったんだ。 | イエー、ンマサーレーレンラー。 イエー、ンマサードウ アレーレンラー。 |
| どうやって魚は美味しく煮れるのかなあ。 | ノーサバドウ イゾー ンマサ ネーサリカヤー。 ノーサバドウ イゾー ンマーンマ ネーサリカ ヤー。 |
| 酒を少し入れて美味しくするんだって。 | グシ ンメーシ イレーテドウ ンマサ ナスイツ チョ。 |

| | |
|-------------------------------------|---|
| イカ墨汁を食べたら歯が黒くなった。 | イカヌ スィルイ フォーダードウ、 パーヌ ッフサ ナリン。 イカヌ スィルイ フォーダードウ、 パーヌ ッフーッフォ ナリルイ。 |
| あそこの食堂、昔はおいしかったのに、最近はおいしくない。 | カマヌ ショクドーヤ ムカスエー シマサーダソング、 クヌグロー シマサー ネーンバン。 |
| そうそう、おいしかった。 | アンジ、アンジ、 シマサーダ。 |
| おかずはどれがおいしくないの？ | カティムノー ジリンドウ シマサー ネーンバ？ |
| キャベツ炒めがおいしくない。 | タマナーチャンプルンドウ シマサー ネーヌ。 |
| (自分でたべてみて)こんなにおいしいのに、あの子は何故残したのかなあ。 | カンジ シマサールイ ムンヌ ノーデ ウヌ ファーヤ ヌクスダカヤー？ /カンジ シマサールイ ムンバ ノーデ ウヌ ファーヤ ヌクスダカヤー？ |
| (残した料理を見て)今日の夕ごはん、おいしくなかったの？ | キューヌ ユーボンヤ シマサードウ ネーナータ？ |
| 味噌汁はおいしかったけど、おかずがおいしくなかった。 | ミシュヌ スィルイヤ シマサーダソング、 カティムノー シマサー ネーナータ。 |
| おいしくなかったから、はんぶん残した。 | シマサー ネーナータードウ、 ハンブンヤ ヌクスダ。 |
| どのおかずがおいしくなかったの？ | ジリヌ カティムヌドウ シマサー ネーナータ？ |
| ニンジンの炒め物がおいしくなかった。 | キンダイクニヌ チャンプルーンドウ シマサー ネーナータ。 |
| ヤギ汁はおいしくなかったけど、大根の煮つけはおいしかった。 | ピビジャヌ スィルイヤ シマサー ネーナータソング、 ダイクニンプシャーヤ シマサーダ。 |
| おいしくないから、誰もたべないだろう。 | シマサー ネーナーキ、 タローン ファーンハズイドー。 シマサー ネーンバ、 タローン ファーンヌハズイドー。 |
| もしおいしくないなら、食べなくてもいいよ。 | ムスイ、 シマサー ネーナーカー、 ファーナーテン ミシャンドウラー。 ムスイ、 シマサー ネーナーカー、 ファーンデン ミシャンドウラー。 |
| おいしくないものでもラードを入れたらおいしくなるよ。 | シマサー ネーヌ ムヌ ヤラバン、 オーヌ アバ イリカー、 シマサ ナルンドウラ。 |

| | |
|-------------------------------|--|
| おいしくなかったヤギ汁がヨモギを入れたら、美味くなった。 | ンマサー ネーナーダー ピビジャヌ スイルイ カイ フツイヌパー イリダー、ンマサ ナル ダ。 |
| 美味しくなければ、誰も食べないだろう。 | ンマサー ネーナーカー、タローン ファーン ハズイ。 |
| おいしくないのに全部食べるの？ | ンマサー ネーナーテン、ムールイ フォー ン？ ／ンマサー ネーナーテン、ムールイ ホイド ウ スイー？ |
| うん、ひもじいから、おいしくなくても食べるよ。 | ン、ヤーサーリキ、ンマサー ネーナーテ ン ホイドウ スイー。 |
| もう少しおいしければ、もっと食べただろう。 | メーメン ンマサールカー、メーヘン ホイドウ スイタサー。 ／メーメン ンマサールカー、メーヘン ホー ダサー。 |
| おいしくなかったのに、食べたの？ | ンマサー ネーナーダソング ホイドウ スイタ？ |
| ううん、おいしかったよ。私は好きだよ。 | アーイ、ンマサーダドゥラー。バナー スイキ ドゥラー。 |
| もし おいしかったら、もっと食べたかもしれな いよ。 | ムスイ、ンマサーレーダカー、メーヘン フォ ダユー バガラヌ。 ／ムスイ、ンマサーダカー、メーヘン フォダ ユー バガラヌ。 |
| どんなにおいしくても、食べすぎは良くない。 | イカシク ンマサーラバン ドゥグ フォーソー ミシャー ネーヌ。 イカシク ンマサーダデン ドゥグ フォーソー ミシャー ネーヌ。 |
| おばあさんの味噌汁がおいしかったことを思 い出した。 | ンミーヌ ミスイヌ スイルイヌ ンマサーダ クト ウドウ ウモーリ。 |
| たまにはおいしい魚が食べたいな。 | ピイトウゲンナーヤ ンマサールイ イズン ホイ プサーソーラー。 |
| 昨日のひもじさと 今日のひもじさは いつが 勝るの？ | キイヌヌ ヤーサトウ キューヌ ヤーサトウ イツ イドウ マサリリヤ？ |
| 今日のひもじさが 真のひもじさだ。 | キューヌ ヤーサドゥ マーヤーサールイ。 |
| おまえもひもじいの？ | ワヌン ヤーサダルイ？ |
| うん、ひもじくて死にそうだよ。 | ン、ヤーサヌ ナラヌ スイヌンガシャドゥ アルイ。 |

| | |
|---------------------------------------|--|
| | ／シー、ヤーサヌ ナラヌ スイヌンゴードウ アルイ。 |
| おまえは、ひもじくないの？ | ワーヤ ヤーサー ネーヌ？ |
| うん、ひもじいけど、まだがまんできる。 | シー、ヤーサーソング、メースイトウ クライラ リン。 |
| とてもひもじいから、何でも食べられる。 | デーズィヌ ヤーサーリキ、ノーヤラバン ファ ーリン。 |
| おまえも、ひもじいだろう？ | ワヌン ヤーサンサー？ |
| ひもじくないけれど、少しなら食べられるよ。 | ヤーサーヤ ネーンソング、ンメーン ヤルイ カー ファーリンドウラー。 |
| 残さないで食べていたけど、そんなにひもじか ったの？ | ヌクサンクニ ホイダソング、アンジ ヤーサー ドゥ アダ？ |
| うん、ひもじかったから、全部食べたよ。 | シー、ヤーサーレーリキ、ムールイ フォー ダ。 ／シー、ヤーサーダー、ムールイ フォー ダ。 |
| どれくらいひもじかったの？ | イカシュク ヤーサーダ？ |
| 皿までたべようと思うくらいひもじかった。 | サラマディ ファーンバデ ウモーシュク ヤー サーダ。 |
| (鍋のご飯がなくなっているのをみて) ほんとうに、ひもじかったんだ。 | ショークトウ ヤーサードゥ アレーレンラー。 |
| そういえば、あのときはひもじかったねえ。 | アンジ アンクカー、ウヌ バジョー ヤーサー ダラー。 |
| あんなにひもじかったのに、もう腹いっぱい だ。 | アンジ ヤーサーダソング メー バダ ンチ タ。 |
| ごはん、食べてないでしょう？何故ひもじくな いの？ | ンボン、ホイ ウラヌサー？ ノーデ ヤーサ ー ネーンバ？ ／ンボン、ホイ ウラヌサー？ ノーデ ヤー サー ネーナーリヤ？ |
| じつは、さっきお菓子を食べたからひもじくな い。 | ジツオー キイサ クァースィ ホーダー、ヤー サー ネーヌ。 ／ジツオー キイサ クァースィ ホイエーリキ、 ヤーサ ネーヌ。 |
| ひもじいけど、腹をこわして何も食べられな い。 | ヤーサーソング バダー クンシ、ノーン ファ ールヌ。 |

| | |
|------------------------------------|---|
| (箸をつけていないのを見て) ひもじくなかったの？ | ヤーサー ネーナータ？ |
| ひもじかったけど、お腹が痛かったの。 | ヤーサーダソング バダンドゥ ヤミダ。 |
| (ひもじくないって言っていたけど) なぜ ひもじくなかったの？ | ノーデ ヤーサー ネーナータ？ |
| さっきお菓子を食べたからひもじくなかった。 | クィサ クァースィ ホーダー、ヤーサー ネーナータ。 ／クィサ クァースィ ホイエーリキ、ヤーサー ネーナータ。 |
| ひもじくなかったから、はんぶん残した。 | ヤーサー ネーナードー、ハンブン ヌクス ダ。 ／ヤーサ ネーナーリキー、ハンブン ヌクス ダ。 |
| ひもじくはなかったけど、おいしそうだったから 食べた。 | ヤーサー ネーナータソング、シマサンガシャ ーリキ ホーダ。 ／ヤーサー ネーナータソング、シマサンガ シャードー ホーダ。 |
| ひもじくないから、今は食べなくてもいい。 | ヤーサー ネーナーキ、ナマー ファーナ ーテン ミシヤン。 |
| ひもじくないなら、食べなくてもいいよ。 | ヤーサー ネーナーカー ファーナ ーテン ミ シヤンドウラー。 |
| ひもじくない時でも食べた方がいいよ。 | ヤーサー ネーン バシユ ヤラバン フォース イドゥ マスイドウラー。 |
| ひもじくなければ、誰も食べないだろう。 | ヤーサー ネーナーカー、タローン ファーヌ ハズィ。 |
| ひもじくないのに、食べるの？ | ヤーサー ネーナーテン フォイドゥ スィー？ |
| うん、ひもじくなくてもおいしそうだから食べる よ。 | シー、ヤーサー ネーナーテン、シマサンガ シャーリキ ホイドゥスィー。 |
| もう少しひもじければ、もっと食べただろう。 | メーメン ヤーサーレーリカー、メヘン ホイ ドゥ アレーリカー。 |
| ひもじくなかったのに、食べたの？ | ヤーサー ネーナーテン フォイドゥ スィタ？ |
| ううん、ひもじかったよ。 | アーイ、ヤーサーダドウラー。 |
| もし ひもじかったら、これを食べてもいいよ。 | ムスィ ヤーサーリカー、クリ ファーバン ミシヤンドウラー。 ／ムスィ ヤーサーリカー、クリ ファーバン ミシャーレンユー。 |

| | |
|--------------------------|---|
| どんなにひもじくても、腐ったのは食べるな。 | イッカシク ヤーサーラバン、フサリムノー ホーナ。 |
| 昔ひもじかった時のことを思い出した。 | ムカスイ ヤーサーダ ズィブンヌ クトウドウ ウモーリ。 ／ムカスイ ヤーサ シーダ ズィブンヌ クトウドウ ウモーリ。 |
| ひもじいときは何を食べてもおいしい。 | ヤーサールイ バシヨー ノー ファーバン ンマサダルイ。 |
| とてもひもじくて、仕事なんかできなかった。 | ドウグカラ ヤーサヌ シグトゥナーダー ナラナータ。 |
| 唐辛子はとても辛い。 | クースヤ デーズィヌ カラサン。 |
| 唐辛子は辛いから、食べたくない。 | クースヤ カラサーリキ、ホイフサー ネース。 |
| 唐辛子は辛くても、おいしいから、私は 好きだ。 | クースヤ カラサーラバン ンマサーリキ、バナー スィキドゥラー。 |
| 唐辛子を入れすぎて、辛かった。 | クース イリズーサーリ、カラサーダ。 |
| 今日の おかずは あまり 辛くない。 | キューヌ カティムノー ドウグ カラサー ネース。 |
| 唐辛子を入れても辛くなかった。 | クース イレーテン カラサー ネーナータ。 ／クース イルバン カラサー ネーナータ。 |
| 唐辛子を入れたら、辛くて 食べられない。 | クース イリカー、カラサヌ ファールヌ。 |
| こんなに からいのに 食べるの？ | アンジ カラサールイムンバ、ホーン？ ／アンジ カラサールイムンバ、ホイドウ スィー？ |
| あそこの食堂の おかずは 昔は もっと辛かった。 | カマヌ ショクドーナ カティムノー ムカスエーメーヘン カラサーダ。 |
| ああ、辛い！ | ハー、カラサヌ！ |
| 唐辛子を入れたら辛くなった。 | クース イリダー カラサ ナリダ。 |
| いつでも おみやげは うれしい。 | イツィヤラバン ツイトー サニシャーダルイ。 ／イツィン ツイトー サニシャーソーラー。 |
| ひさしぶりに 孫に 会えて うれしい。 | マリケーティニ マーカイ イカイ サニシャーン。 |

| | |
|---------------------------------------|---|
| 昨日は 孫に 会えて うれしかった。 | キヌヤ マーカイ イカイ サニシャーダ。 |
| ああ、うれしいなあ。 | アー、サニシャーソーラー。 |
| うれしい知らせが きた。 | サニシャールイ シラスイヌ キールイ。 |
| 太郎の車は黒い。 | タローヌ クルマヤ ッフサーン。 タローヌ クルマヤ ッフォーッフォードウ アル イ。 |
| (太郎の買った車を初めてみて) へえ、太郎の 車って 黒かったんだ。 | アベー、タローヌ クルマーヤ ッフサドゥ ア レーレンラー。 |
| (太郎の車の色を思い出して) そうそう、太郎の車は 黒かった。 | アンジアンジ、タローヌ クルマー ッフサード ウ アダ。 |
| うわあ。黒い！ | アビヤー。ッフサヌ！ |
| おとうさんの 髪は 黒い。 | アッチャーヌ アカマズイヤ ッフサーン。 |
| わかいころは おじいさんの 髪も 黒かっ た。 | バガサーダンケンヤ ウシュマイヌ アカマズイ ン ッフサーダ。 |
| 黒い 車が 止まっている。 | ッフォーッフォーヌ クルマンドウ トウマリルイ。 / ッフクルマンドウ トウマリルイ。 |
| おじいさんとおばあさんはどっちが年上だっ たの？ | ウシュマイトウ ンミヤ ターンドウ シジャ ヤ ダ？ |
| おじいさんよりおばあさんが5歳年上だっ た。 | ウシュマイヤカン ンミーヌドゥ イツイツイ シジ ャ ヤダ |
| (おばあさんの年齢を聞いて) へえ、おばあさんが年上だったんだ。 | アベー、ンミーヌドゥ シジャ ヤレーレンラ ー。 /アベー、ンミーヌドゥ シジャ ヤレールイラ ー。 |
| おばあさんが年上だったことは、家族しか知ら なかったなあ。 | ンミーヌ シジャ ヤダ クトー、ヤーニンジュ タンガードウ バガリウダラー。 /ンミーヌ シジャ ヤダ クトー、ヤーニンジュ ユヤカ フカー ッサナータソングラー。(家族 以外知らなかった) |
| おばあさんは年上だったのに、おじいさんに やさしかったよ。 | ンミヤ シジャ ヤダソング、ウシュマイユ カ ナサ スイタ。 |
| おばあさんは年上なのに、威張らなかった。 | ンミヤ シジャ ヤソング、イバリ ウラナータ。 |

| | |
|-----------------------------------|--|
| おばあさんは、相手が年上でも年下でも区別しなかった。 | ンミヤ シジヤ ヤラバン、ウトウドウ ヤラバン、クティ サーナータ。 |
| おじいさんは年上じゃなかったのに、おばあさんは敬語を使っていたの？ | ウシュマイヤ シジヤ アランムンバ、ンミヤ ウヤマイムニドゥ シーダ？ |
| うん、年上じゃなくても、おじいさんには敬語を使っていた。 | ンー、シジヤ アラナーテン、ウシュマイカイヤ ウヤマイムニドゥ シーダ。 |
| 兄さんと姉さんは、どっちが年上なの？ | フツチャートウ ホンマーヤ ターンドウ シジヤリヤ？ ／フツチャートウ ホンマーヤ タルイドウ シジヤリヤ？ |
| 姉さんが兄さんより三つ年上だよ。 | ホンマードウ フチャーヤカン ミーツィ シジヤドゥラー。 |
| 兄さんが年上だったの？ | フツチャーンドウ シジヤ ヤダ？ |
| ううん、年上じゃなかった。 | アーイ、シジヤ アラナータ。 |
| あなたが年上なの？ | ワードウ シジヤ？ |
| ううん、年上じゃない。 | アーイ、シジヤ アラス。 |
| そうそう、太郎が俺より年上だった。 | アンジ アンジ、タローンドウ バヌヤカン シジヤ ヤダ。 |
| (独り言のように) 太郎と花子はどっちが年上かなあ。 | タロートウ ハナコーヤ ターンドウ シジヤカヤー。 |
| 花子が太郎より年上だろう。 | ハナコーンドウ タローヤカン シジヤ ヤルイハズイ。 |
| 花子が太郎より年上だっただろう。 | ハナコーンドウ タローヤカン シジヤ ヤダ ハズイ。 |
| (年上じゃないとおもっていたけど) 年上だったのかな。 | シジヤドゥ ヤダカヤー。 |
| 私より年上の甥がいる。 | バヌヤカン シジヤヌ ブイヌ ウン。 |
| 金城さんは、年上だから、とても威張っている。 | カナグスクサンヤ シジヤ ヤリキ、デーズイヌイバリドゥ ウルイ。 |
| あの人が年上じゃなければ、だれも言うことを聞かない。 | ウヌ ピイトウヌ シジヤ アラナーカー、タローン アンク クトー スイカヌ。 ／ウヌ ピイトウヌ シジヤ アラナーカー、タローン アンク ムニ スイカヌ。 |

| | |
|---|---|
| 年上じゃなかったから、言うことを聞かなかった。 | シジャ アラナータカー、 アンク クトー スイカナータ。 |
| あいつが年上じゃないなら、敬語を使わなくてもいい？ | ウンザヌ シジャ アラナーカー、 ウヤマイムニ アンカンテン ミシャーン？ |
| (写真を見ながら)このなかで誰が年上じゃないの？ | クヌ ウツィナンガ ターンドウ シジャ アランバ？ |
| 比嘉さん、年上じゃなかったの？ | ヒガサン、 シジャ アラナータ？ |
| うん、年上じゃないのに、いつも威張っていた。 | シー、 シジャ アランムンバ イツィン イバリダ。 |
| 比嘉さんが年上じゃなかったことはみんな知っていたよ。 | ヒガサンヌ シジャ アラナータ クトー ムールツシダドゥラー。 ／ヒガサンヌ シジャ アラナータソー ムールツシダドゥラー。 |
| 年上じゃないから、誰も言うことを聞かない。 | シジャ アラナーキ、 タローン アンク クトー スイカヌ。 ／シジャ アラナーキ、 タローン アンク ムノール スイカヌ。 |
| もし年上だったら、もっと威張っていたかもしれない。 | ムスイ シジャ ヤダカー、 メヘン イバリドゥウダユー バガラヌ。 |
| (写真を見ながら)このなかであなたより年上じゃない人は誰と誰(あるいは誰々)？ | クヌ ナカナンガ ワヌヤカン シジャ アランピイトー タルトウ タルリヤ？ |
| 年上じゃないのはこの人だよ。 | シジャ アラン ピイトー クヌ ピイトウドゥラー。 |
| この人、年上じゃないの？ | クヌ ピイトー シジャ アラヌ？ |
| うん、年上じゃないが、いい人だったよ。 | アーイ、 シジャ アランソンガ イー ピイトウ ヤダドゥラー。 |
| 年上なら年上らしくしなさい。 | シジャ ヤルカー シジャン ヤーシ ウリ。 |
| ひいおじいさんとひいおばあさんは、どっちが年上じゃなかったの？ | ウフウシュマイトウ ウフンミヤ ターンドウ シジャ アンナータ？ |
| 今日の たろうは いつもとちがって やさしい。 | キューヌ タローヤ イツィントウ チガイ、 キムカイシャーン。 |
| たろうは やさしい。 | タローヤ キムカイシャーン。 |

石垣市石垣方言の存在動詞と不存在動詞の調査のための例文

| | |
|---|---|
| この島に空港はあるの？ | クヌ スイマンガ ヒコージョーヤ アン？ |
| うん、空港はない。 | アーイ、ヒコージョーヤ ネーヌ。 |
| 何故 ないの？ | ノーデ ネンバ？ |
| 島が 小さいから、無いんだよ。 | スイマヌ グマサーリキードウ、 ネーヌダラー。 |
| 港なら、あるよ。 | ンナトゥ ヤルカー アンドウラー。 |
| どこに あるの？ | ズイマンガ アリヤ？ |
| 島の 南側に ある。 | スイマヌ ハイタヌ カタンガ アン。 |
| (島をドライブしてきて) あなたが 言った通り、港が 有った。 | ワー アンクダソンヤー ンナトゥヌ アダ。 |
| 昔は 小学校が 有った。 | ムカスエー ショーガッコーン アダ。 |
| どこに あったの？ | ズイマンガドゥ アダ？ |
| 今の 役場の 近くに 有った。 | ナマヌ ヤクバナ ツィカサンガドゥ アダ。 |
| (広い 広場になっているところを見てきて) あなたが 言った通り もう 小学校は 無かった。 | ワー アンクダソンヤー メー ショーガッコーヤ ネーナータ。 |
| 昔は 子供も 多かったからこそ あったんだよ。 | ムカスエー ファーナヌ フーサ ウレーリキードウ アダルイユ。 |
| 中学校は 無かった。 | チューガッコーヤ ネーナータ。 |
| 何故 無かったの？ | ノーデ ネーナータ？ ／ノーデ ネーナーダ？ |
| 隣の 村に あったから、この 村には 無かった。 | トゥナルイヌ ムランガ アダードウ、 クヌ ムランガ ー ネーナータ。 |
| 明日 草刈りするから、家に 鎌が あるなら、持 って 来て。 | アツツァ フサカルイ シーキー、 ヤーンガ ガギイ ヌ アルイカー ムチ クバ。 |
| 私の 家に 鎌 あるかなあ。(独り言のように) | バンチャンガ ガギイ アンカヤー。 |

| | |
|--|--|
| おかあさん、鎌は どこに あるの？ | アッパー、ガギイヤ ズイマンガドゥ アリヤ？ |
| 家には 鎌は 無いよ。 | バンチャンガ ガギイヤ ネーンバンユー。 |
| おじいさんの 家 に 有るだろう。 | ウシュマイチャーンガ アルイハズイドー。 |
| (鎌をおじいさんの家の台所で見つけて) 有った！有った！ | アダ！ アダ！ |
| (予想してなかった意外な場所に有ったので) こんな ところに 有ったんだ。 | カンジヌ カタンガドゥ アレーレンラー。 |
| その 鎌は、どこにあったの？ | ウヌ ガギイヤ ズイマンガドゥ アダ？ ウヌ ガギュー ズイマンガドゥ アダ？ |
| この 鎌は 台所の テーブルの 上に 有った。 | クヌ ガギイヤ トーラヌ ダイヌ ハナナンガドゥ ア ダ。 |
| テーブルの 上に 有ったの？ 本当なの？ | ダイヌ ハナンガドゥ アダ？ フントーユー？ |
| 何故 そんなところに 有ったのかなあ。 | ノーデ アンジヌ カタンガ アダカヤーラー。 |
| おじいさんが 置いたから、そこに あったに違 ない。 | ウシュマイヌ ツイケーリキ、ウマンガドゥ アレー ルイ。 |
| 鎌なら おまえの家にも あっただろう？ | ガギイ ヤルイカー ワッチャーンガン アダ アラ ヌ？ |
| ううん、家には 鎌は 無かった。 | アーイ、バンチャンガ ガギイヤ ネーナータ。 |
| おじいさんの 家 に 有ったから、持ってきた。 | ウシュマイヌ ヤーンガ アダードゥ ムチキタ。 |
| おじいさんの 家 に 有ったのか？ | ウシュマイチャーンガドゥ アダ？ ／ウシュマイチャーンガー アレーダ？ |
| おじいさんの 家だから あるんだよ。 | ウシュマイヌ ヤー ヤリキードゥ アルイドウラー。 |
| 我が家には 無いよ。 | バンチャーンガー ネーヌ。 |
| おじいさんの 家なら 鋏も 有るだろう？ | ウシュマイヌ ヤー ヤルカー カナハイン アンサ ー？ |
| うん、有るよ。 | ンー、アンドウラー。 ／ンー、アレンユー。 |
| おじいさんの 家 に 有った 鋏も 持ってきたよ。 | ウシュマイヌ ヤーンガ アダ ガギイン ムチ キ タ。 |

| | |
|--|---|
| <p>そういえば、私の 家にも 鰻が 有ったなあ。</p> | <p>アンジ アンクカー バンチャンガン カナハイヌ アダソーラ。 アンジ アンクカー バンチャンガン カナハイヌ アダラー。</p> |
| <p>(以前、畑にかぼちゃがあったのを思い出して) たしか お宅の 畑にも かぼちゃ 有ったよね。</p> | <p>タシカ ワッチャヌ ハタギンガン カブチャヌ アダラー。</p> |
| <p>うん、うちの 畑には かぼちゃも 有るし、冬瓜も 有るよ。</p> | <p>ンー、バンチャヌ ハタギンガー カブチャン アリ、スイブルイン アレンユー。</p> |
| <p>うちの 畑に 冬瓜が あるから、採って 来て。</p> | <p>バンチャヌ ハタギンガ スイブルイヌ アリキー、トゥリ クバ。</p> |
| <p>畑に 有る 冬瓜を 友だちに とってきてもらった。</p> | <p>ハタギンガ アルイ スイブルイ ドゥスイカイ トウラス イミダ。</p> |
| <p>(前に畑に大根を植えてなかったのを思い出して) たしか お宅の 畑には 大根は 無かったよね。</p> | <p>タシカ ワッチャヌ ハタギンガー ダイクニヤ ネーナータラー？</p> |
| <p>うん、大根 無いよ。</p> | <p>アーイ、ダイクニヤ ネーヌ。</p> |
| <p>いまは 夏だから 大根は 無い。</p> | <p>ナマー ナツイ ヤリキー ダイクニヤ ネーヌ。</p> |
| <p>お米が 無いなら、芋でも 煮て 食べようかな。</p> | <p>マイヌ ネーナーカー、アッコシ ヤラバン ネーシホーンカヤー。</p> |
| <p>お米が 無いの？</p> | <p>マイヌドウ ネーヌ？</p> |
| <p>家には、お米は 無かっただろう。</p> | <p>ヤーンガ マイヤ ネーナータ ハズイ。</p> |
| <p>家には、お米は 無かったねえ。</p> | <p>ヤーンガ マイヤ ネーナータラー。</p> |
| <p>お米が 無かったら 私が 買って来ようか？</p> | <p>マイヌ ネーナーカー、バー カイ キーン？</p> |
| <p>もし 味噌も 無いなら、買って きて あげようか。</p> | <p>ムスイ ミシユン ネーナーカー、カイ キー ヒールン？</p> |
| <p>うん。味噌も 無いから、買ってきてくれ。</p> | <p>ンー、ミシユン ネーナーキー、カイキー ヒーリヤ。</p> |
| <p>山羊肉が あったら それも 買って きて くれ。</p> | <p>ピビジャヌ ニクヌ アルイカー ウリン カイ キー ヒーリヤ。</p> |
| <p>山羊肉が あったら それも 買って きて。</p> | <p>ピビジャヌ ニクヌ アルイカー ウリン カイ クバ。</p> |

| | |
|---|--|
| 山羊肉が 無ければ、鶏の 肉でも 豚の 肉でも いいから 買って きて くれ。 | ピビジャヌ ニクヌ ネーナーカー、トウルイヌ ニク ヤラバン オージュ ニク ヤラバン ミシャーリキー カ イ キー ヒーリヤ。 |
| 塩も 無かったから、買って もらった。 | マースン ネーナードー、カースイミダ。 |
| 醤油が 無かったのに、煮つけを 作れたの？ | スタディヌ ネーナータソング、ンブシャー ツイク ラリダ？ |
| 醤油は 無くても、塩か 味噌が 有れば、煮つけ は 作れる。 | スタディヤ ネーナートン、マースユー ミシュユー アルイカー、ンブシャーヤ ナルン。 |
| ここに 煮つけが 有ったんじゃない？ | クマンガ ンブシャーヌ アダ アラヌ？ |
| たしか 夕方までは 有っただろう。 | タシカ ユネーンマデー アダ ハズイドウラー。 |
| もう 無かったの？ | メー ネーナータ？ |
| ううん、無かった。 | アーイ、ネーナータ。 |
| 何故、無かったのかなあ。(独り言のように) | ノーデ ネーナータカヤ。 |
| 弟が 食べたから、無かったんだよ。 | ウトウドウヌ ホイエーリキードウ ネーナールーイ サー。 ／ウトウドウヌ ホイエーリキードウ ネーナードサ ー。 |
| 食いしん坊の 弟は 食べ物が 有れば なんでも も 食べるからねえ。 | ファイダマー ウトウドウヤ ホームヌヌ アルイカー、 ノーヤラバン ホイキラー。 |
| (実際には食べられたので無いけど) 弟が 食べなければ 煮つけは あったのに。 | ウトウドウヌ ファーナールーイカー、ンブシャー ヤ アレーソング。 |
| (実際には食べられたので無いけど) 弟が 食べなければ 煮つけは 残っていただ ろう。 | ウトウドウヌ ファーナールーイカー、ンブシャー ヤ ヌクリダ ハズイ。 |
| お金が 有る ちは 心配が ない。 | ジンヌ アルインケンヤ シュバ ネーヌ。 |
| お金は いくら 有っても、心配 ない。 | ジンヤ イコーバ アラバン、シュバ ネーヌ。 |
| お金の ない 人は、一生懸命 働かなければ、 子どもを 育てられない。 | ジンヌ ネーン ピイター ネーランケーリ ウガナー カー、ファーヤ ツイカナールヌ。 |
| 物が 無かった ころは、知恵を 出して 暮らし ていた。 | ムヌヌ ネーナード バシヨー ズンブン イダシドウ クラシダ。 |

| | |
|--|--|
| 物が 無かったころは、知恵を 出して 暮らしていた。 | ムヌヌ ネーナードケンヤ ズンブン イダシドウ クラシダ。 |
| 仕事が 無いうちは／無い間は、家で 何をして いたの？ | シグトウヌ ネーナータケンヤ ヤーンガ ノードウ シーダ？ ／シグトウヌ ネーナータケンヤ ヤーンガ ノーシーダ？ |
| あの ときは 仕事も 無くて、家の 手伝いばかり していた。 | ウヌ バシヨー シグトウン ネーナー、ヤーン ティガナイタンガードウ シー ウダ。 |
| 隣の 子は 仕事も しないで、遊んでばかり いた。 | トウナルイヌ ファーヤ シグトウン サーナーテ、アサビィ タンガードウ ウダ。 |
| 買い物に いったときは 財布は あったのに 見つからないんだ。 | ムヌカイナ ハッタ バシヨー ジンフクルヤ アダソング トウミラルヌ。 ムヌカイナ ハッタ バシヨー ジンフクルヤ アダソング トウミラルンバン。 |
| なんで 無いかなあ。(独り言のように) | ノーデ ネーヌカヤ。 |
| 車の中には 無かったんだろう？ | クルマヌ ナカンガー ネーナータサー？ |
| うん、車には 無いだろう。 | アーイ、クルマヌ ナカンガー ネーン ハズィ。 |
| カバンの 中には 無いだろう？ | カバンナンガー ネーンサー？ |
| 探したんだろう？ | トウメー ミーダサー？ |
| (帰ってきて風呂に入ったのを思い出して風呂場に行って) ああ、ここに あったんだ。 | イーツ、クマンガドウ アレールィ。 |
| 近くに 有ったのに、気が付いて いなかった。 | ツィカサンガ アダソングドウ、バガラナー ウレーレン。 |
| そういえば、私の家にもそれと同じものが有ったなあ。 | アンジ アンクカー バンチャンガン ウリトウ ヌヌムンヌ アダラー。 |
| そういえば、私の家にもそれと同じものが有ったのになあ。 | アンジ アンクカー バンチャンガン ウリトウ ヌヌムンヌ アレーダソングラー。 |
| (水滴の蒸発した跡を見て) ここにコップが有ったにちがいない。 | クマンガ コップヌ アレールィラー。 クマンガ コップヌ アダ アラヌ？ |